

里のらるる報

2013年 9月号 No. 150

発行者

〒869 - 5161
八代市葭牟田町435番地
特別養護老人ホームすずらの里
Tel 0965-39-7511
Fax 0965-39-7512
施設長 福田道子

一日ピエ ガーデン

～楽しんで～

暑さもまだまだ厳しい8月21日(水)に一日ピエガーデンを行いました。
はじめに「炭鉱節」を利用者の皆さんと一緒に歌いました。



2F職員によるリンボーダンスとフラダンス!

二階職員はリンボーとフラダンスを組み合わせましたダンスを披露しました。男性は葉っぱ、女性は花を頭に飾り南の国の雰囲気

職員は浴衣に着替え氷川きよしの「星空の秋子」の曲に合わせて踊りを披露しました。音響のトラブルがありました。音響のトラブルがありました。音響のトラブルがありました。

職員が浴衣に着替え氷川きよしの「星空の秋子」の曲に合わせて踊りを披露しました。音響のトラブルがありました。音響のトラブルがありました。音響のトラブルがありました。

最後は職員全員で「八代音頭」を踊り、源田アキエさん(94)は踊る職員を見て、両手を動かして一緒に踊っておられました。



夕食時のバイキングメニュー

夕食は食堂がビアホールに早変わりしバイキング料理でみなさん好きな

料理を召し上がったおられました。
また、希望された方にはビールもふるまわれ、美味しくそうに飲まれました。



久しぶりのビールに満足の深田清一さん

夕食の後は、玄関前に出てしゃぼん玉と花火を楽しみました。



前田ミズエさん(87)は職員と一緒に花火を持ち恐る恐る眺めておられました。打ち上げ花火が上がるとみなさんから歓



懐かしいシャボン玉遊びの風景

声があがり、たいへん楽しんでいただけました。これからも暑さに負けずに過ごしていただきたいと思います。
介護職員 上田有希

祝 おめでとございます ～9月の誕生者～



- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 松本 シキ様
(T 5.9.20 97歳) | 園原 美保枝様
(T15.9.21 87歳) |
| 村川 フミ子
(T9.9.21 93歳) | 中川 安徳様
(S10.9.14 78歳) |

台風の大おれ

台風の規模を表す言葉で、「大きさ」があります。
この「大きさ」は、風速15メートル以上の強風域が「どのくらい」の大きさなのかで決まります。
半径500キロメートル以上で、「大きい」または「大型」、半径800キロメートル以上のものを「非常に大きい」

「超大型」といいます。
「大型」の台風なら東京を中心にと大阪・仙台まで入ってしまう大きさです。これが「超大型」になると、九州・北海道にかけて、広い範囲が強風域に入ってしまうことになるそうです。

栄養満点

ふれあいおやつ ～かき氷～

8月20日にふれあいおやつでかき氷を提供しました。
 今回は、入所者のみなさんの前で、機械で氷をすり、色々な味のみつと練乳をかけて提供し選んでもらいました。みなさん、「うわあ、きれいか」「どれにしようかね」とそれぞれお好きな味を選ばれ、ペロツと食べておられました。また、



数名の方はおかわりを希望され、暑くなった体にピッタリのおやつとなりました。
 次回のふれあいおやつも季節にちなんだおやつをお届けしたいと思います。お楽しみに。

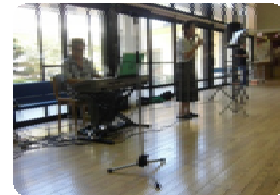


管理栄養士 宮崎 美鈴

ありがとう

ありがとうございました

8月28日(水)懐メロ
 愛好会の方より慰問が
 ありました。



私は誰でしょう？



ヒント；私はデイサービスで勤務している男性職員です。この写真は3歳の時のもので当時の夢は『釣りをして生きる人になる』事でした。趣味は釣りとゲームをすることで、休日はよく、海や川に釣りに出かけています。
 これからも宜しくお願いします。



* 8月号の正解は、
 西嶋星来さんでした。

委員会紹介

褥瘡委員会

【メンバー構成】

介護職員 4名

看護職員 1名

管理栄養士 1名

介護支援専門員 1名

【委員会の目的】

入所者の中には身体状態により様々な原因で褥瘡(床ずれ)が発生しやすくなる方がいらつしやいます。当委員会では、褥瘡を作らない、悪化させない、早く治すを目的と

して褥瘡予防対策に取り組んでいます。

【委員会の取り組み】

予防計画書を作成しそれをもとに日常介護で予防の実践を行い、それを評価して計画的な予防対策を実施しています。

【現在取り組んでいる事】

褥瘡の予防対策としてスキンケア(皮膚の清潔・保温保護)に力を入れています。

ます。



委員長
 看護職員 福田京子

【最後に】

褥瘡を作るのは「介護の恥」「看護の恥」とも言われています。
 心地よい生活を過ごしていただけたよう褥瘡ゼロに向けたケアに努めていきたいと思えます。

広報誌における写真や記事は個人情報保護法に基づき本人およびご家族の承諾のうえ掲載しています。